

UNCCA10周年に寄せて

監査役 山岡 智恵子

宇部市地球温暖化対策ネットワーク 10周年おめでとうございます。

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）とコープやまぐちのつながりのきっかけは、2003年の「行政懇談会」でした。

当時、私はコープやまぐちの宇部地域理事をしており、懇談会の中で当時の藤田市長より UNCCA のことをお聞きし、コープやまぐち宇部地域として参加させていただくことになりました。その後、市民感覚・主婦目線での意見も聞きたいということで幹事会にも参加させていただくことになりました。

緊張して参加した幹事会でしたが、企業の感覚や先生方の考えたと主婦とは大きな隔たりを感じました。

そんな中、UNCCA と宇部日報が連携して「マイバッグキャンペーン」を取り組むことになり、広く市内外の人に呼びかけ、マイバッグコンテストを開催するなど大きな取り組みになりました。その後、2011年からは山口県全体でレジ袋無料配布中止となる等、大きな広がりになったことは大きな喜びであり、とても印象深い活動になりました。



還暦同窓会にて

コープやまぐちではずっと以前からマイバッグ持参運動に取り組んでおりましたので、これについて、宇部日報の紙面に取り上げていただいたことがありました。今では、皆さん当然のように持参していますが、掲載された当時は、男性や若者が持参する事はほとんど皆無といっても良いほどでした。しかし、掲載をきっかけに、夫や息子、娘が積極的に買い物袋を持参するようになったことは、我が家にとって大きな成果となりました。(#^.^#)

また UNCCA の助成を受け、地域の子どもさんを対象に「廃油を利用したせっけん作り」や「冷蔵庫を使わないアイスクリーム作り」など、環境について考えてもらう活動なども開催する事が出来ました。その頃の子どもたちも中学生や高校生となり、少しでも環境に興味を持ってきているとうれしいな！と思います。

環境について…環境問題等という、難しく考えがちですが、私たちが家庭で出来ることといえば、ゴミを出さない様な調理の工夫をする、ごみをきちんと分別する、近い所へは車を使わず徒歩や自転車を利用する、使わない部屋の明かりを消すなど、一人一人の力は小さくてもみんなが取り組めば大きな力になると思い、これからもコツコツと楽しみながら続けていきたいと思ひます。

宇部市地球温暖化対策ネットワークのますますのご発展をお祈りいたします。



手作りマイバッグ教室